



**中国労災病院**

日本医療機能評価機構認定病院  
地域医療支援病院  
広島県指定がん診療連携拠点病院

◎ホームページにも、いろいろな情報を掲載しています。  
ぜひご覧ください

中国労災

**病院理念**

患者中心の良質な医療と地域医療への貢献

**心臓病教室のお知らせ**

2016年も心臓病教室を開催いたします。

第1回目 3月14日(月)

テーマ:

「心臓の基本と、心臓に関する最近の話題」

時間: 16:00~17:00

場所: 8階多目的ホール

その後も、4月・5月・6月・7月・8月・9月と  
行う予定です。

開催日時が決まりましたらあらためてお知らせ  
いたします。

心臓に関して何か聞いてみたいことはありませんか?  
どなたでも**参加自由**です。  
楽しく心臓病を学びましょう!

**基本方針**

- ・個人の尊厳と権利を尊重し、高度で安全な医療を推進します。
- ・地域と連携し、救急から慢性期まで一貫した医療を行います。
- ・周産期医療を充実させ、未来を担う子供たちを支援します。
- ・高度専門的な医療に基づいた勤労者医療を進めます。
- ・優れた人材を育て、働きがいのある職場を作ります。

**HMネット(ひろしま医療情報ネットワーク)**

HMネットとは、広島県と広島医師会が構築し運営する  
「ひろしま医療情報ネットワーク」の愛称です。

「診療情報開示カード(HMカード)」を作成いただき、  
そのカードを「HMネットに参加しているかかりつけの  
医療機関」に提示されますと、当院で行った患者さんの  
診療情報を、当該医療機関の医師(かかりつけ医)も見  
ることができます。

かかりつけ医が診療情報を共有することで、患者さんの  
肉体的、経済的、精神的負担等は軽減し、診療の質や効  
率を向上させることができます。

現在、「HMネットに参加しているかかりつけの医療機  
関」が閲覧できる診療情報は、**病名・処方歴・検査結  
果・退院サマリ・画像診断**ですが、3月中旬(予定)か  
らは**内視鏡画像・看護サマリ**の閲覧も可能になり、診療  
の質や効率の更なる向上が期待できます。

※「診療情報開示カード(HMカード)」の  
作成を希望される方は、各ブロック受付の担  
当者にご相談下さい。

**「スマホ老眼」とは?**

最近、スマホの普及に伴い、特に若い世代で視力低下を訴える人が増えてい  
ます。長時間のスマホ使用によるもので、「スマホ老眼」と呼ばれています。  
疲れ目(=眼精疲労)や乾き目(=ドライアイ)による一時的な症状と思われま  
すが、「スマホが見えづらい=近くが見えづらい=老眼」という先入観から  
そう呼ばれるようになったのだと思います。また、スマホのせいで「近視」  
が進行して裸眼視力が低下する人も少なくないでしょう。

いずれにしても、スマホの長時間使用は様々な目の不具合を引き起こし  
ます。対策はもちろんスマホを長時間見続けられないこと。適度に休憩を  
とり、必要であれば目薬(市販薬で可)をさすことで症状は和らぎます。  
症状が治まらなければ眼鏡店での相談、または眼科への受診をお勧めし  
ます。

話は変わりますが、スマホには2本指で触れるだけで簡単に画像を拡大  
できる機能があります。これは老眼の方にとってとても便利な機能で、  
細かい文字などを写真に撮って拡大すれば老眼鏡がなくても見えるよう  
になります。スマホの使い過ぎはたしかに目によくないですが、うまく  
活用すれば意外に目にやさしい面もありますよ。

